

文教委員会資料

所管事務の調査（報告）

学校給食センター整備等事業におけるPFI事業中間評価について

資料 学校給食センター整備等事業におけるPFI事業中間評価について（概要版）

参考資料1 川崎市南部学校給食センター整備等事業 PFI事業 中間評価

参考資料2 川崎市中部学校給食センター整備等事業 PFI事業 中間評価

参考資料3 川崎市北部学校給食センター整備等事業 PFI事業 中間評価

令和5年6月1日

教育委員会事務局健康給食推進室

学校給食センター整備等事業におけるPFI事業中間評価について（概要版）

1 報告の趣旨

PFI事業として実施した学校給食センター整備等事業について、平成29年度の運営開始から5年を経過したことにより中間的な検証を実施し、川崎市民間活用推進委員会の審議を経て中間評価をとりまとめたため、報告を行うものである。

2 川崎市学校給食センター整備等事業（PFI事業）について

（1）事業の全体像

ア 事業概要

- ・ 本市では、市立中学校の昼食は、「家庭からのお弁当」を基本として「ミルク給食」を実施し、併せて「ランチサービス」を実施してきたが、中学校完全給食の実施に関する「市議会の決議（平成23年3月）」や市民の皆様からの様々な意見・要望を踏まえて、教育委員会会議において議論を重ねた結果、中学校においても小学校と同様に「完全給食」を実施することが望ましいとの結論に至り、平成25年11月に「川崎市立中学校給食の基本方針」を決定した。
- ・ 基本方針に基づき、安全・安心で温かい中学校給食の早期実施に向けた検討を進め、平成26年10月に「川崎市立中学校完全給食実施方針」を策定した。
- ・ 本市特有の細長い地形等を考慮し、限られた市有地を最大限に活用して、センター方式により調理場を3箇所整備し、市立中学校全校で完全給食を提供する。
- ・ 中学校完全給食の実施により、学校給食を生きた教材として活用することで、これまでに行われてきた学校での食育をさらに充実させていく方針である。
- ・ 本事業は、学校給食センターに係る設計・建設・維持管理・運營業務を包括的に発注することにより、民間のノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減、財政負担の平準化等を図るため、PFI事業として事業を実施したものである。

イ 各学校給食センターの概要

名 称	南部学校給食センター	中部学校給食センター	北部学校給食センター
事業者名	<u>株式会社 川崎南部学校給食サービス</u>	<u>株式会社 川崎中部SLS</u>	<u>株式会社 川崎北部学校給食サービス</u>
事業体制	<p>代表企業 株式会社東洋食品</p> <p>構成員 東亜建設工業株式会社 タニコー株式会社 伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社 秋山商事株式会社 三菱HCキャピタル株式会社</p> <p>協力企業 パシフィックコンサルタンツ株式会社</p>	<p>代表企業 株式会社グリーンハウス</p> <p>構成員 株式会社ジーエスエフ 株式会社梓設計 株式会社熊谷組 株式会社アイホー 株式会社合人社計画研究所</p> <p>協力企業 新日本厨機株式会社 八千代エンジニアリング株式会社</p>	<p>代表企業 株式会社東洋食品</p> <p>構成員 東亜建設工業株式会社 タニコー株式会社 伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社 セントラル総業株式会社 三菱HCキャピタル株式会社</p> <p>協力企業 パシフィックコンサルタンツ株式会社</p>
事業費 (契約ベース)	<u>約154億円(税込)</u>	<u>約112億円(税込)</u>	<u>約81億円(税込)</u>
事業期間	<u>平成27(2015)年10月14日</u> <u>～令和14(2032)年3月31日</u>	<u>平成27(2015)年12月15日</u> <u>～令和14(2032)年3月31日</u>	<u>平成27(2015)年12月15日</u> <u>～令和14(2032)年3月31日</u>
供給能力	<u>22校、15,000食/日</u> (うちアレルギー対応食150食/日)	<u>14校、10,000食/日</u> (うちアレルギー対応食100食/日)	<u>12校、6,000食/日</u> (うちアレルギー対応食60食/日)
構造・敷地面積	鉄骨造地上2階・8,074㎡	鉄骨造地上2階・7,186㎡	鉄骨造地上3階(地下1階)・2,757㎡
外 観			

(2) 事業実施スケジュール

	南部学校給食センター	中部学校給食センター	北部学校給食センター
実施方針の公表	平成26年11月 7日	平成26年11月 7日	平成26年11月 7日
特定事業の選定	<u>平成27年 2月12日</u>	<u>平成27年 2月12日</u>	<u>平成27年 2月12日</u>
入札公告	平成27年 2月25日	平成27年 3月25日	平成27年 3月25日
落札者の決定	平成27年 7月 1日	平成27年 9月 3日	平成27年 9月 1日
基本協定書の締結	平成27年 7月 9日	平成27年 9月30日	平成27年 9月17日
仮契約の締結	平成27年 8月 6日	平成27年10月30日	平成27年10月30日
議決・契約の締結	平成27年10月14日	平成27年12月15日	平成27年12月15日
開業準備	平成29年 6月 1日	平成29年 9月 1日	平成29年 9月 1日
完全給食実施	<u>平成29年 9月 4日</u>	<u>平成29年12月 1日</u>	<u>平成29年12月 1日</u>

3 中間評価の内容

(1) 本事業の検証

中間評価においては、本事業のこれまでの報告書等を整理した上で、次に示す検証のための視点に基づく評価を行った。

視 点	検証内容
事業としての評価	当初に期待した効果（定性的・定量的）が得られたか
手法としての評価	事業スキーム、リスク分担が妥当であったか
施設としての評価	施設、設備の現況は経過年数（要求水準）に対して適当か

本事業の検証に当たり、視点ごとに評価を実施するため、評価項目の考え方を次のとおり整理した。

評価の視点	評価項目	確認内容
(1) 事業としての評価	ア 中学校完全給食の実施	・センター方式を活用した効果 ・川崎らしい特色ある「健康給食の推進」
	イ 利用者満足度	・アンケート調査結果
	ウ 安定的な中学校給食の提供	・実施給食数
(2) 手法としての評価	ア 事業スキームの妥当性	・事業手法・方式、事業形態、事業期間 ・業務範囲
	イ 効率的な整備実施によるサービスの質の向上	・運営等を意識した設計などの工夫 ・安全・安心な給食提供のための業務改善
	ウ 財政負担の縮減	・VFM（財政負担の軽減割合）
	エ 事業経営の安定性	・SPCの財務状況
	オ リスク分担の妥当性	・リスク分担表に基づく対応状況
(3) 施設としての評価	施設・設備の現状	・要求水準等との整合 ・点検・修繕等の実施状況

4 評価のまとめ

(1) 事業としての評価

検討・分析結果のまとめ	
ア 中学校完全給食の実施	<ul style="list-style-type: none">・平成29年12月に市立中学校全校で完全給食の提供を開始したことから、<u>早期に完全給食を実施したと言える。</u>・給食のコンセプトを「健康給食」と定め、米飯給食中心に野菜を豊富に取り入れた献立や、地場産物を取り入れた献立を提供しており、<u>小中9年間にわたる体系的・計画的な食育を推進することにより、食育の充実を図っていると考えられる。</u>
イ 利用者満足度	<ul style="list-style-type: none">・令和4年度のアンケート結果では、生徒の約90%が「給食をおいしい」と回答しており、保護者の約96%が「給食が始まってよい」と回答していることから、<u>「とにかく『美味しい』中学校給食」というコンセプトに沿った給食を提供できていると考えられる。</u>
ウ 安定的な中学校給食の提供	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休校や学級閉鎖など、本市の事情により給食を中止したことを除いて、<u>事業者</u>に起因する事情によって学校給食センターの稼働が停止することはなく、<u>支障なく事業実施</u>ができた。



事業としての評価のまとめ	
<p>事業としては、「<u>早期に安全・安心な中学校完全給食の実施</u>」という本事業の目的は概ね達成されており、適切な対応がなされていると言える。</p>	

(2) 手法としての評価

検討・分析結果のまとめ

ア 事業スキームの妥当性

- ・ 財政負担の平準化がなされ、施設整備に当たり 国からの交付金を適用でき、一定のVFMを実現できる見込みである。
- ・ 運営期間中も市が施設所有者として、施設・設備面に対して関与が容易なことから 事業の安定的な実施が可能となり、施設の所有者が市となるPFI（BTO）方式は、学校給食運営上適切であったと考えられる。
- ・ 入札手続きにおいて、大方の基本設計を作成した上で入札に係る提案書を作成するため、基本設計・実施設計の期間を短期間で行うことができ、PFI事業の手法の特徴の一つである一括発注が、設計と建設の連携を可能とし、速やかな共同調理場整備に繋がったと言える。
- ・ 学校給食センターは、極めて高いレベルでの安全上・衛生上の配慮が必要であり、業務の一括化に伴い、事業者は前もって資材・人材の確保をはじめとする各種準備を進められ、円滑な事業実施、良質なサービスの提供が実現できている。

イ 効率的な整備実施によるサービスの質の向上

- ・ 本件整備・業務委託を一括して民間事業者に委ねることにより、維持管理・運営業務を担う者の意向を踏まえた施設整備が可能になるなど、それぞれ分離して発注する場合と比較して、事業の合理化や効率化が図られており、包括発注の効果が認められると考えられる。
- ・ 要求水準に従って、高い食品衛生上の安全性が確保された施設が整備されるとともに、計画に基づいた適切な維持管理が行われ、運営業務においても各種マニュアルによる衛生管理が実施されるなど、給食提供に影響を及ぼすことなく、要求水準書・事業契約書等に規定されるサービスは概ね適正に履行され、民間活用の効果が認められると考えられる。
- ・ 建物の配置を敷地境界から離隔距離をとった敷地中央にとするなどして近隣に配慮した。（北部学校給食センター建設中に近隣企業から建設中止の訴えがあったものの請求は却下された）
- ・ 市職員によるモニタリング等により指摘された改善点や、必要に応じて行われた指導・勧告に対して、安全・安心な給食提供のための業務改善が継続して実施されている。（改善勧告の実例：南部学校給食センターにおける火災対応）

ウ 財政負担の縮減

- ・ 民間資金を活用することで、市は事業期間終了までの間に初期整備費を分割して支出することが可能となり、財政負担の平準化が図られ、本事業を市が直接実施する場合に比べて、P F I方式により実施する場合、特定事業選定時及び事業選定時に事業期間全体を通じて算出したV F Mでは次のとおり見込んでいる。
 - ・ 特定事業選定時V F M：南部 4.72%、中部 4.71%、北部 4.86%
 - ・ 事業者選定時V F M：南部 5.61%、中部 5.62%、北部 11.58%

エ 事業経営の安定性

- ・ 毎事業年度にP F I事業者より提出される財務書類に基づき財務上の健全性等について、コンサルタント事業者による分析を踏まえたモニタリングを実施しており、これまでの財務モニタリング結果から財務上の健全性についての特段の課題等は見受けられないと考えられる。

オ リスク分担の妥当性

- ・ 減額ポイントにおける事業契約書の解釈について、リスク分担に基づき解釈を図っており、事業期間の中でリスクが顕在化する事態が生じたものの、リスク分担に従い適切に対処できており、リスク分担は妥当であったと考えられる。



手法としての評価のまとめ

手法としては、P F I手法を導入したことで、施設の整備と維持管理・運営の両面での効果、市の財政負担の平準化など、多方面の効果があったと言える。

(3) 施設としての評価

検討・分析結果のまとめ

ア 施設・設備の現状

- ・事業者は、日常点検等で不具合の兆候が見られた段階で予防的に修繕を実施するなど、要求水準書に沿って施設の維持管理・修繕が適切になされていると言える。
- ・建物及び建築設備については、長期修繕計画及び毎年の維持管理に関する事業計画書に基づき、適正に点検、保守、修繕を実施している。



施設としての評価のまとめ

施設としては、要求水準書に沿って施設の維持管理・修繕が適切になされていると言える。

(4) まとめ

本事業をPFI事業として実施した目的と、「事業」「手法」「施設」の視点ごとの評価結果を踏まえ、本事業の評価のまとめを行った。

本事業をPFI事業として実施した目的

早期に安全・安心で温かい中学校給食を実施するため、本市特有の細長い地形等を考慮し、限られた市有地を最大限に活用して、センター方式により調理場を市内3箇所に整備することとして、学校給食センターに係る設計・建設・維持管理・運營業務を包括的に発注することにより、民間のノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減、財政負担の平準化等を図るため、PFI事業として事業を実施した。



評価のまとめ

「事業」「手法」「施設」のいずれの視点においても一定の効果があるものと言えることから、本事業をPFI事業として実施したことにより、当初期待したとおりの効果が得られたものと考える。

【川崎らしい特色ある「健康給食」の推進】

中学校給食のコンセプト

中学校給食の目指す姿・・・みんなで創る「健康給食」

① とにかく「美味しい」中学校給食

【重点取組項目】

- 「国産食材」にこだわる「主要食材（米、野菜、肉など）国産率 100%」
- 和風の天然だしなど、薄味でおいしい味付けの工夫など

献立は、市の栄養士が旬の食材を活用しながら作成します。

② 自然と「健康」になる中学校給食

【重点取組項目】

- 年間を通した1食平均で「国産野菜 125g」が摂れる
- 米飯給食 90%以上、「和」の食生活が自然と身につく「健康給食」
- 適量が分かりやすい食器のデザイン（ご飯盛り付けラインの表示）など

1日あたりの平均摂取量の1/3以上*

③ みんなが「大好きな」中学校給食

- 人気ランキングを定期的に募集し献立に反映
- 生徒と保護者からレシピを募集して、優秀作品は給食献立に採用など

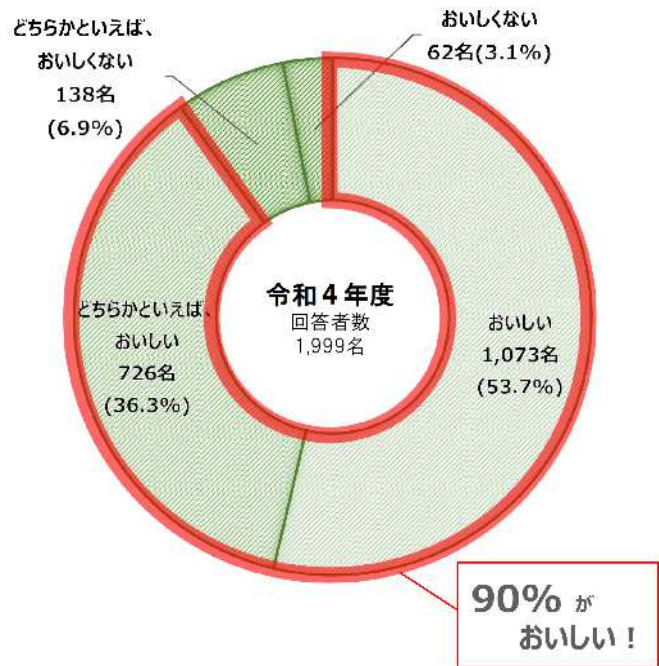
みんなで創る「健康給食」

※「健康日本 21」（厚生労働省）による成人1日あたりの野菜の平均摂取量の目標値は 350g、国産品に限らない。

【令和4年度中学校給食アンケート結果（抜粋）】

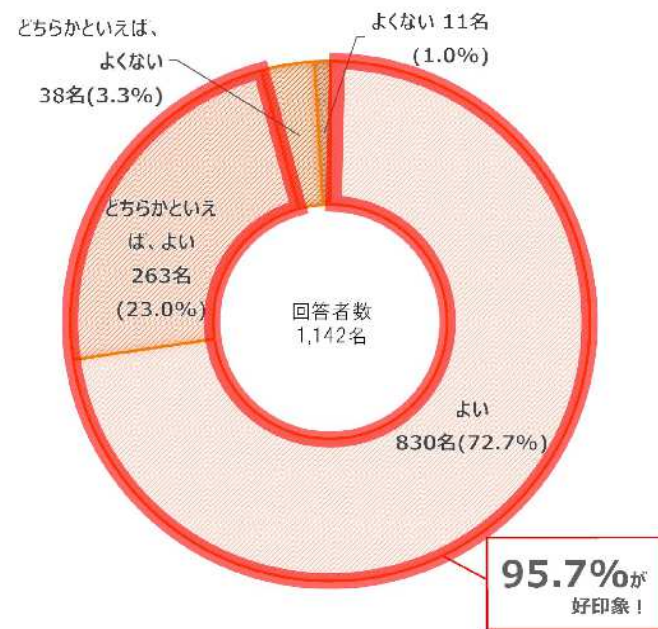
中学校給食に関するアンケート結果【生徒編】

😊 給食はおいしい！？



中学校給食に関するアンケート結果【保護者編】

👍 給食をどう思いますか！？



【南部学校給食センター 改善勧告の実施状況】

※令和4年度は、第3四半期までの実績

区 分		基 準		H29	H30	R 元	R2	R3	R4
業務不履行	レベル 1	不具合がある場合	給食への軽微な異物混入等	4	1	0	3	1	0
			業務報告の不備等	0	0	0	1	1	3
	レベル 2	給食提供に支障がある場合	給食への異物混入等	0	0	0	0	0	0
			その他	0	0	1	1	0	0
提 供 不 全	レベル 3	指定時刻に配送されなかった場合	生徒が所定の時刻から給食を喫食できなかった場合	0	0	1	0	0	0
	レベル 4	給食の一部が提供されなかった場合	生徒が一部の献立を喫食できなかった場合	0	0	0	0	0	0
	レベル 5	給食が提供されなかった場合	生徒が給食を喫食できなかった場合	0	0	0	0	0	0
計				4	1	2	5	2	3

【中部学校給食センター 改善勧告の実施状況】

※令和4年度は、第3四半期までの実績

区 分		基 準		H29	H30	R 元	R2	R3	R4
業務不履行	レベル 1	不具合がある場合	給食への軽微な異物混入等	5	1	1	0	1	1
			業務報告の不備等	0	0	0	0	1	0
	レベル 2	給食提供に支障がある場合	給食への異物混入等	0	0	0	0	1	1
			その他	0	0	0	0	0	0
提 供 不 全	レベル 3	指定時刻に配送されなかった場合	生徒が所定の時刻から給食を喫食できなかった場合	0	0	0	0	0	0
	レベル 4	給食の一部が提供されなかった場合	生徒が一部の献立を喫食できなかった場合	0	0	0	0	0	0
	レベル 5	給食が提供されなかった場合	生徒が給食を喫食できなかった場合	0	0	0	0	0	0
計				5	1	1	0	3	2

【北部学校給食センター 改善勧告の実施状況】

※令和4年度は、第3四半期までの実績

区 分		基 準		H29	H30	R 元	R2	R3	R4
業務不履行	レベル1	不具合がある場合	給食への軽微な異物混入等	1	1	0	0	0	2
			業務報告の不備等	0	0	0	0	0	0
	レベル2	給食提供に支障がある場合	給食への異物混入等	0	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0	0
提 供 不 全	レベル3	指定時刻に配送されなかった場合	生徒が所定の時刻から給食を喫食できなかった場合	0	0	1	0	0	0
	レベル4	給食の一部が提供されなかった場合	生徒が一部の献立を喫食できなかった場合	0	0	0	0	0	0
	レベル5	給食が提供されなかった場合	生徒が給食を喫食できなかった場合	0	0	0	0	0	0
計				1	1	1	0	0	2